

私たちはお客様の笑顔のために・・・



南信州広域タクシー有限公司は、

人と環境にやさしい

安全の上に “ 安心 ” を

提供する企業を目指します。

# 南信州広域タクシー有限公司

- 一般乗用旅客自動車運送事業
  - タクシー業務（タクシー車両 53台 ・ ジャンボタクシー車両 7台）
  - 介護車両対応業務（車イス対応車両 10台 ・ 寝台車専用リフト対応車両 2台）
- タクシー代行業務（夜間運行）
- 一般乗合旅客自動車運送事業
  - 各乗合タクシー運行（6路線運行）
  - 高速乗合タクシー松本線運行
- 一般貸切旅客自動車運送事業
- 貸切バス運行（小型バス 11台 ）
  - 飯田市市民バス運行（3路線運行）
- 一般貨物自動車運送事業
  - デリバリー宅配サービス業務（食料などの有償運送）
  - 霊柩車、搬送業務（JAサービス提携により）



# 私たちのまち飯田市

## この地域の運輸事業者としての責任



### 「飯田市」

長野県の南端、諏訪湖から流れる天竜川に沿った南北に広がる「伊那谷」に位置します。総人口9万8千人が居住する典型的な中山間地域です。

美しき田園風景。豊かな水資源。私たちのまち「飯田市」はこの素晴らしい自然を後世に伝えていくため、環境保全活動を推進してきました・・・

- 1996年 飯田市環境基本計画「いいだ環境プラン」策定
- 2001年 地域の環境マネジメントシステム 「南信州いいむす21」開始
- 2003年 地球温暖化防止活動環境大臣賞 受賞
- 2007年 環境文化都市宣言
- 2009年 **環境モデル都市選出**
- 2012年 飯田市環境基本計画「いいだ環境プラン」第3次改訂
- 2013年 飯田市再生可能エネルギー導入による持続可能な町づくり条例
- 2021年 2050年いいだゼロカーボンシティ宣言
- 2021年 飯田市環境基本計画「いいだ環境プラン」第5次改訂

環境推進都市であるこの飯田市において、市民である私たち「南信州広域タクシー有限公司」はグリーン経営の認証継続・エコドライブ活動コンクールへの参加、地域の環境マネジメントシステム「南信州いいむす」の認証等、様々な環境推進事業を思いを一つに企業全体で推進して参りました。



人と環境にやさしい企業への挑戦

## 環境にやさしい次世代自動車や低排出車への代替 (95.0%)



HV シエンタ



HV クラウン



HVLPG JAPAN



低排出車 シエンタ介護車



EV 日産リーフ



PHV プリウス



低燃費・低排出車  
ハイエース



低燃費・低排出車  
ハイエースリフト車

実に、所有台数60台のうち57台の車両が、環境にやさしい車両となっています。

今後は次世代自動車を中心に代替を進めていきます。

## 2008年 交通エコロジー・モビリティ財団 グリーン経営認証

2009年より、公益社団法人 交通エコロジー・モビリティ財団主催  
 エコドライブコンテストへ参加

## 2021年 エコドライブ活動コンクール 優秀賞受賞



平成21年度	認定証
平成22年度	優良賞
<b>平成23年度</b>	<b>優秀賞</b>
平成24年度	認定証
平成25年度	認定証
平成26年度	優良賞
平成27年度	認定証
平成28年度	優良賞
平成29年度	認定証
平成30年度	優良賞
平成31年度 (令和1年度)	認定証
令和2年度	優良賞
<b>令和3年度</b>	<b>優秀賞</b>
令和4年度	優秀活動認定

14年連続で受賞を獲得しており、最高賞である国土交通大臣賞を目指し、会社全体で活動を推進しています。

南信州地域において21世紀に展開する環境マネジメントシステム  
**「南信州いいむす21」 認証**

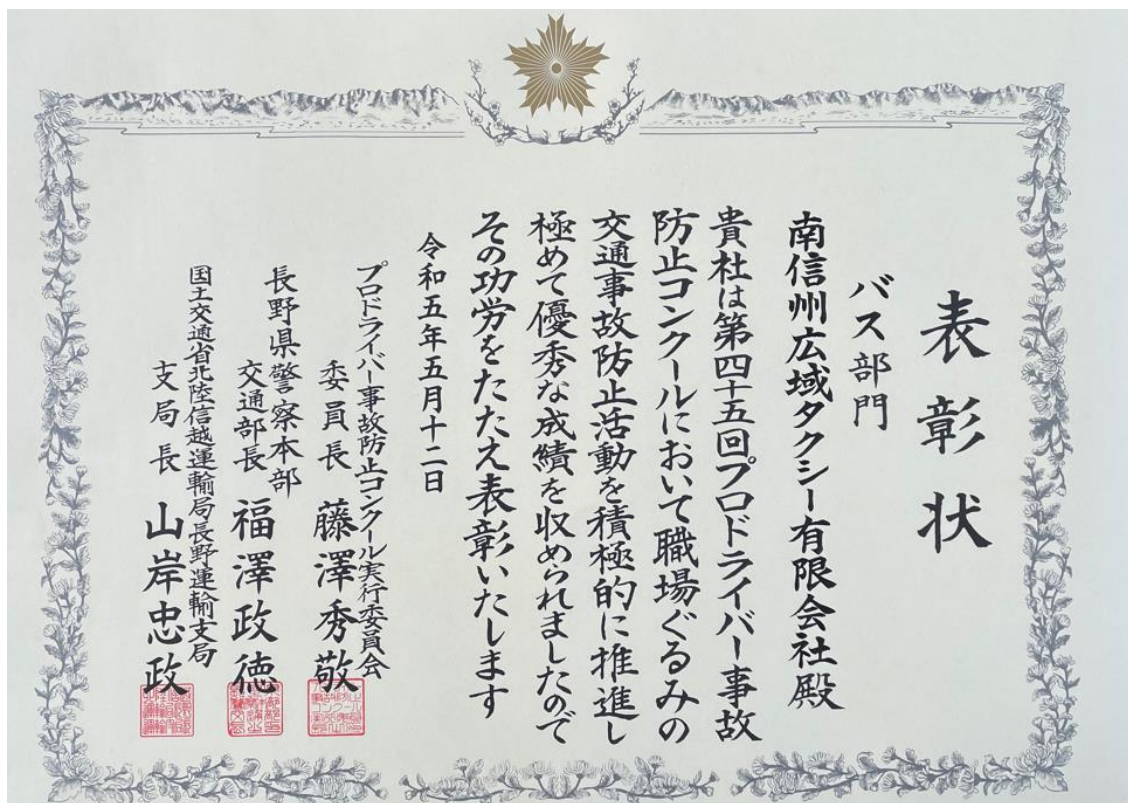
持続可能な未来を長野から

**「長野県SDGs推進企業」 登録**



グリーン経営で安全意識を高め

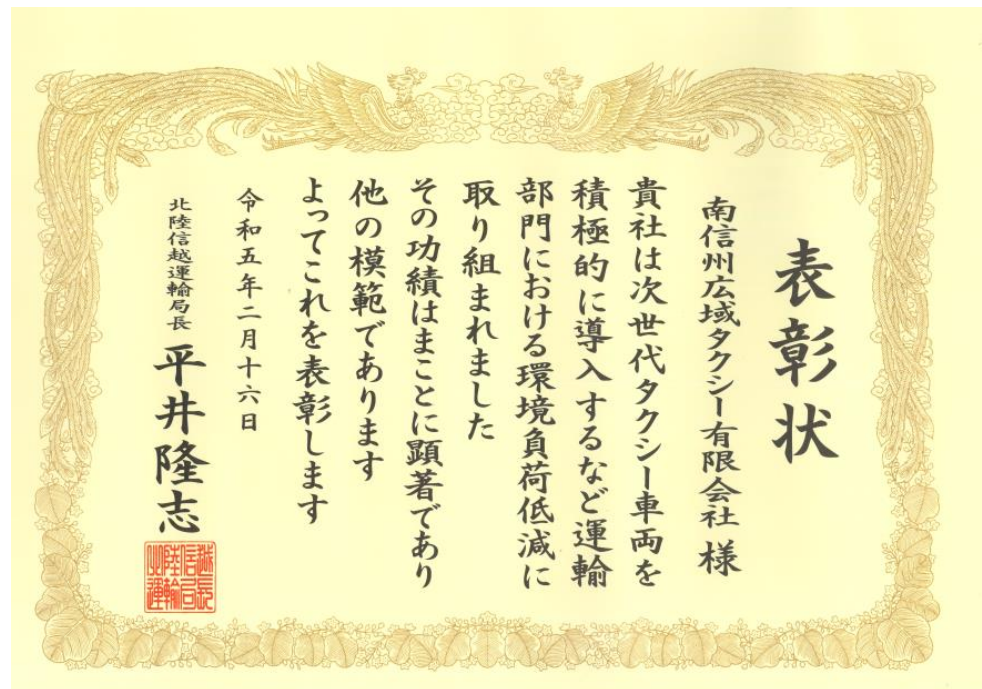
## 第45回プロドライバー事故防止コンクール タクシー部門とバス部門 2部門で最優秀賞 受賞





環境負荷低減の取組を評価

# 令和4年度 交通関係環境保全優良事業者等表彰式



# 環境に配慮した公共交通の第一歩

「デマンド交通」をゼロエミッションEV車（電気自動車）にて運行開始



出発式

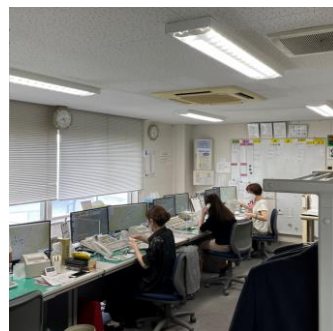
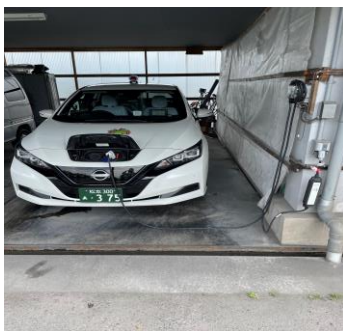


当社代表の鈴木佳史と佐藤飯田市市長

飯田市が運行業務を委託する路線「乗合タクシー竜東線」で、EV車（電気自動車）の乗合タクシーの出発式が令和4年4月27日 飯田市役所にて開催されました。当日は、飯田市長をはじめ、飯田市ゼロカーボン推進課様、また数多くの報道関係者方々に出席をして頂きました。公共交通機関から始まる脱炭素化に向けた新しい取組です。

# エネルギーの地産地消を目指して

アップルキャブの100%再生可能エネルギーによるゼロカーボン企業への挑戦  
南信州ゼロカーボン電気を利用（飯田まちづくり電力株式会社）



夜間等は電力会社から電力を購入



非化石証書



※非化石価値市場で必要分を調達致します

非化石証書とは・・・  
非化石電源で発電された電気の非化石価値を切り離して証書にしたものです。非化石電源は、太陽光や風力などの再生可能エネルギーであり、CO2を排出しないという価値が生まれます。この価値を可視化したものが非化石証書です。  
当社は、夜間等の足りない電力を補うために、この非化石証書を購入することにしました。



太陽光発電による電力+非化石証書からの非化石電力=弊社はCO2排出ゼロのゼロカーボン企業となり、ゼロエミッションタクシーの運行開始です。





安心を提供する企業への挑戦

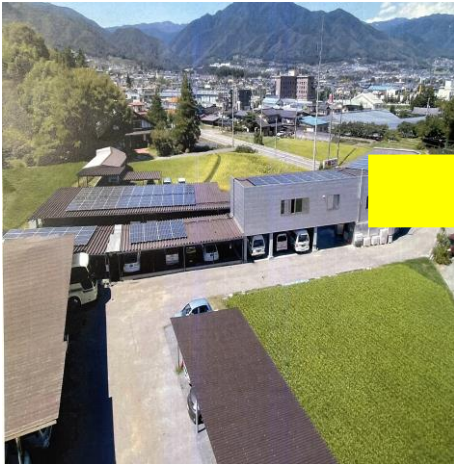
# 災害時の電力供給による防災力強化

飯田市環境モデル都市宣言【～2050年、飯田市は、「日本1住みたいまち」になる～】構想

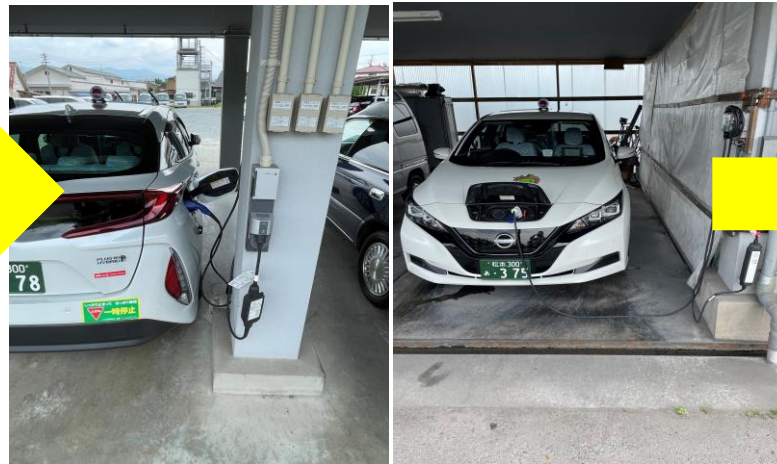
**\*災害に強いまちづくりに、当社はCO2排出ゼロ電力の供給で協働します\***

EV車を蓄電池として活用し電力を給電

当社太陽光パネル



▶ 太陽光パネルからEV車を充電



災害時におけるライフラインの確保として電力は必要不可欠です。当社はこのEV車・PHV車の給電システムを利用し、停電時などにおける避難場所での電力供給、断水時等による井戸水を汲み上げる電力として当社のEV車・PHV車を活用し、地域の皆さま方のライフラインを確保する協定を飯田市と阿智村と締結する予定です。**当社のEV車・PHV車は太陽光発電による電力から充電をしており、100%再生可能エネルギーを活用した災害時での電力供給となります。**



安心を提供する企業への挑戦

# 阿智村（日本1星のきれいな村）と 「災害時における緊急輸送等に関する協定」を締結する

「災害時の電力の供給を100%再生可能エネルギーで対応します。」

令和4年7月25日 阿智村役場において協定の締結式が行われました。これまでも、当社と阿智村と阿智村独自の乗合タクシーの運行など、深く関わり保ってきました。新たに、**災害時における太陽光発電によるゼロエミッションタクシーからのライフラインの確保を目的とした電力の供給と、IP無線機の通信設備を生かした連絡体制の整備を積極的に努める協定**です。災害時の電力供給をEV車両の給電システムを活用した災害協定は全国初となります。



調印式 鈴木社長と熊谷阿智村村長



EV車からの給電システムを披露

## 安心を提供する企業への挑戦

# 広いエリア・高音質・災害対策のため IP無線機を導入 太陽光発電による電力と非化石電力によるCO2排出ゼロ電力で運用する

### IP無線の特長



#### どこでもつながる

インターネット通信がつながる場所なら、どこでも通信できます。



#### 各キャリア対応

IP無線が対応している携帯キャリアがつながればどこでも使えます。



#### 免許がいらない

免許申請が不要なため誰でもすぐに使用することができます。



#### インターネット通信

通信には携帯キャリアのデータ通信(3G/4G)、Wi-Fiを利用します。



#### BCP・災害対策

災害時にも制限がからず、緊急連絡や危機管理対策にも利用できます。



#### 高いセキュリティ

盗聴の心配はなく、通信もありません。



#### 高い音質

IP無線ごとにばらつきがありますが、従来の無線機よりも音質が良く聞きとりやすい。



#### 投資対効果

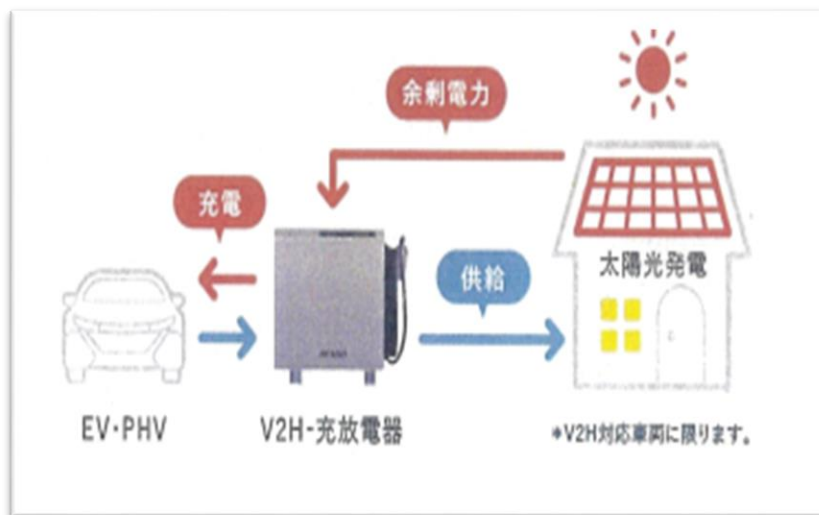
広い範囲で使用する場合、従来の無線よりも投資対効果が高い。



災害時などの緊急事態が発生した時に、企業が最小限に損害を抑えるための計画、「BCP」にも対応しています。災害時に行政等の連絡体制が構築できない状況であっても、当社本社とタクシー車両である移動局と無線での交信は可能であるため、地域の災害対策でも利用は可能です。日々環境下が変化する中、地域の住民らの生活を守る危機管理対策にも、当社のIP無線機を多いに利用して頂けるよう行政にも働きかけをしています。

安心を提供する企業への挑戦

# V2H-充放電器を本社に設置・・・ クルマから充電・クルマから建物へ給電



V2HはEV車の「もったいない」を有効活用するシステムです

- ①EV車やPHV車を災害時の非常用電源として利用できる
  - ②地球環境にやさしい電気の使い方ができる
  - ③電気代を節約できる
- と言ったメリットがあります。


本社事務所にV2H-充放電器の設置を2023年1月に設置完了しています。災害時など電力供給が困難な場合、EV車両からV2Hを介し、本社事務所で電力の供給を行います。災害時に強いIP無線機を活用し、市役所等の災害対策室などが当社事務所を活用して頂き、素早く正確な情報収集や伝達を可能にすることで、地域の方々の生活や社会的経済活動の維持に努めて参ります。

## 「何かができる」そこから全体の意識改革に繋げ、大きな輪を作る

- ①EV車など、次世代自動車を積極的に導入。
- ②貸切バス部門でのグリーン経営認証。
- ③IP無線機のメリットを最大限活用し、同業者との連携を図る。
- ④環境保全推進企業の先駆的な役割を果たし、行政にインフラ整備等の提言を上げていく。
- ⑤2050年 飯田市ゼロカーボンシティ宣言を実現するため、100%再生可能エネルギーを使用したゼロカーボン企業を更に推進していく。
- ⑥環境保全活動の重要性を、社員らと信頼関係の中で理解し合い、協力し合い、時には競争し合い、同じ方向性を保ち進めていく。



# 飯田市乗合タクシー全路線の脱炭素化 3社連携によるゼロカーボンタクシーの運行

 **おひさま 株式会社**

太陽光の設置と維持管理

2013

自家消費型太陽光発電の設置

アップルキャブ本社のタクシー車庫屋根に、屋根貸しておひさま進歩社が太陽光パネルを設置。事務所とEV充電で使い、余剰は売電する。



電気+環境価値



① 2013～  
晴天昼間のゼロカーボン化を実現

- ・ 事務所と一般EVタクシーで太陽光の電気利用



② 2022～  
24h/365日のゼロカーボン化を実現

- ・ 夜間や雨天の電気もゼロカーボンに
- ・ EV2台を乗合タクシー電東線に導入
- ・ 地域公共交通の半分がゼロカーボン化

③ 2022～  
V2H設置、阿智村と防災電源供給の協定

- ・ EVを非常電源として派遣することも可能に
- ・ V2Hで停電時も太陽光とEV活用

④ 2023 9月19日～  
乗合タクシー4路線すべてのゼロカーボン化を実現

- ・ EV2台を乗合タクシー山本西部山麓線、遠山郷高校通学支援線に導入



 **アップルキャブ 南信州広域タクシー 有限会社**

ゼロエミッションタクシーの運行

 **飯田まちづくり電気 株式会社**

ゼロカーボン電気の供給を実施

2022  
ゼロカーボン電気の提供を開始

太陽光パネルの余剰電力は、飯田まちづくり電力が買い取って環境価値を非化石証書化。CO2を排出しない「南信州ゼロカーボン電気」として供給。

余剰を売電



電気+環境価値

JEPIX

証書番号: 000000015892

非化石燃料証書(電力) 南信州ゼロカーボン電気 (電力) 株式会社

Non-Fossil Fuel certificate (Electricity) with trading (Electricity product)

発行日	有効期限	発行量	譲渡先	譲渡先	譲渡先	譲渡先	譲渡先	譲渡先	譲渡先	譲渡先
2022/01/01	2022/12/31	10000000	飯田まちづくり電力株式会社	飯田まちづくり電力株式会社	飯田まちづくり電力株式会社	飯田まちづくり電力株式会社	飯田まちづくり電力株式会社	飯田まちづくり電力株式会社	飯田まちづくり電力株式会社	飯田まちづくり電力株式会社

本社事務所にV2H機器を導入し、停電時も太陽光とEVを活用できる設備を整備。災害時に避難所へ移動して防災電源を供給することが可能となり、阿智村と防災協定を締結。



乗合タクシー山本西部山麓線、遠山郷高校通学支援線に投入して運行、アップルキャブが運行する乗合タクシー4路線すべてでゼロカーボン化を実現

